

統一課題局別全体計画

北海道森林管理局

課 題	超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用					開発期間	令和 7 年度～令和 11 年度 2025 年 4 月～2029 年 3 月 (5 年間)
開発箇所	胆振東部署 152 林班 西紋別支署 1083 林班	面積・ プロット数	胆振東部署 7.15ha 3 か所 西紋別支署 14.57ha 3 か所	担当 部署	森林技術・支援センター 技術普及課 森林整備第一課	共同研究 機 関	
課題の分類	統一 課題	技術開発 基本目標	1	その他関係 施 策 等	森林・林業基本計画、国有林野の管理経営に関する基本計画		
現状と問題点	エリートツリー等コンテナ苗（特定苗木を含む）については、下刈り回数の縮減による造林の省力化・低コスト化等が期待され、今後、供給体制が整備されてくるものと考えられる。一方で、その能力を十分に発揮するためには土壌や微地形等が影響するとの調査結果もあり、特にエリートツリー等が良好に成長するには、成長初期に十分な養分が必要と想定される。						
開発目的 (数値目標)	植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の成長促進効果、植栽適地等の検証を行うとともに、5年後の実用化を念頭に再造林の低コスト化の可能性について検証する。						
開発方法	超緩効性肥料がトドマツコンテナ苗（普通苗）の成長に与える影響を明らかにするため、帯状伐採跡地において、植栽時における植穴への施肥の有無による調査区域（①超緩効性肥料あり、②超緩効性肥料なし）を設定 生育状況調査（苗長、根元径、生存・病虫害等の確認）および雑草木調査（雑草木の種類・平均高、下刈の必要性（C 区分判定））を実施						
年度別計画	令和 7 年度 ・試験地の設定 ・試験地の基礎調査（土壌、地形等） ・伐採、地拵 ・プロットの設定 ・植栽（施肥） ・生育状況調査	令和 8 年度 ・生育状況調査 ・雑草木調査（C 区分判定）	令和 9 年度 ・下刈作業 ※前年度判定による ・生育状況調査 ・雑草木調査（C 区分判定）	令和 10 年度 ・下刈作業 ※前年度判定による ・生育状況調査 ・雑草木調査（C 区分判定）	令和 11 年度 ・下刈作業 ※前年度判定による ・生育状況調査 ・雑草木調査（C 区分判定） ・完了報告（11 年度）		
中間報告			○				
技術開発委員会 における意見							
原課・原班の 意見							
その他							